

**祝45周年**

～府中東小学校45年のあゆみ～

- 『くすのきのこ』の意味は？
- 校章の意味は？
- 府中東小学校開校のいきさつは？
- 開校から現在までの45年間の振り返ります。



**開校当時の合言葉**



- く ふうする子ども
- す すんで実行する子ども
- の りこえる子ども
- き まりを守る子ども
- の びる子ども
- こ ころのやさしい子ども

**校章の意味**



府中東小学校の校章はくすのきを図案化し、『3枚の葉』はそれぞれ知育・情育・体育を表し、中央の『東』は躍動する児童の姿を表しています。

**大谷翔平選手からグローブが届く！**



令和6年1月18日に臨時朝会が行われ、大谷翔平選手から寄贈された3つのグローブが全校児童に披露されました。

**東小学校が産声をあげるまで**

～東小誕生のいきさつは？～

※開校20周年時のPTAだより（1998年・第118号）にて、開校に向けてご尽力された中野武さん（前 府中町教育長）のインタビューより抜粋いたしました。

1975年にかけてドーナツ化現象が進み府中町では人口が急増しました。府中小が県下一のマンモス校となり、中央小も平均的規模より大きくなっていきました。5000人近い児童数に対し、町内に小学校が3校というのは少ない為、あと2校必要ということになりました。当初は北小（仮称第四小学校）を先に開校する予定でしたが、用地買収に手間取り、東小（仮称第五小）を先に開校することとなりました。

～校舎を建てるにあたってのエピソードは？～

グラウンドの南側に校舎を建てる案もありましたが、グラウンドが凍る可能性があることが分かり、（あえて冬至の頃調査）校舎は北側に建てることにしました。子ども達に陽のあたるグラウンドで遊んでもらうためです。校舎北側の住宅の日照権が問題となったので、B棟は3階建てとし、さらに予定より5メートルほど南側へずらすことにしました。

～設計における工夫は？～

補助金の関係で教室の総面積は決められていたので、西側の靴置き場や、渡り廊下を壁で囲まず、部屋とみなされないようにしました。また、2～3学級分の広さのフリー教室を設け、児童数増となった時に間仕切りで対応できるようにしました。将来増築可能な部分を用意してあります。（うさぎ小屋の辺り）

**水生植物園**



西中校庭にある「水生植物園」は、1982年の卒業記念品として小学校にプレゼントされたものです。金魚、メダカ、エビ、ヤゴ、水草など季節ごとに沢山の生き物と植物で賑わっています。

**自然観察園**



4年生が、総合的な学習の時間に自然観察園で、主に自然に関する活動を行っています。

